

# ゴルフ协会会员権の

ゆくえ

●5●

## 西村 國彦(弁護士)

パブル期に買った、いや、買わされた会員権は今どうなっていますか。飛び抜けた人、たくさん抱えたままの人、毎年安く市場で売って税金を戻している人、裁判をやって勝ちましたけれどお金を回収できない人、早めに優良ゴルフ場からは全額返してもらった人。経済的な観点からいうと、いろいろな人がおられます。でも経済的な見方をする

と、ゴルフ会員権というのは全く奇妙な性格のものになっています。会員説明会など行って説明をしていると、会員の一部に素直に投機のために会員権を買ったのに、不満を述べられる方がいます。ゴルフ会員権は相場がつくようになり、パブル期には顔面の何十倍、数百倍になったこともあるので、金融商品

な性格を持つことになっていきます。しかし相場ものである以上、ハイリターンがあり得るのと同じだけハイリスク性を否定できません。もちろん、会員権証書や会則には退会時に預金を返還す

ずして、すべからず最高裁で減額を換付し始めました。またメカパブルの預金ですら一行動たり1000万円しか保証されなくなろうとしている時代です。完成して皆がプレーしているゴルフ場の預託金の抱え置き期間の延長(預託金のカットや放棄ではありません)くらい認めただ方が、健全な法務に合致すると思いません。か。私からみると、早い者勝ちの預託金の返還をせよと認める裁判官は、難破船の救命

的ではありませんね。ただこの点もよく分からないのです。ハゲタカ外資が今、日本中のゴルフ場を安く買いあさっています。彼らはファンドです。明らかに投機目的です。ですから必ず賃値よりかなり上昇するとの予測があるはず。ということは、やはり会員権の相場的にも将来値上りがあり得ると読まれる方もいておかしくはありません。それでも投機は投機、損切りは損切り、それはあきらめてください。

いなど突則的なものです。他方預託金制ゴルフ場の増加はゴルフの大衆化一般化に奇異したことも事実ではあります。その預託金制がほころび、全面的な見直しは時期が来た。現在、日本のゴルフ界そのものを大きく良い方向に変えるチャンスなのかもしれません。早い者勝ちの返還請求はもうたくさんです。ゴルフ会員の多くは、お礼を言われびびくりしました。もうどりの方は、私よりひと回り上の70歳ですが、今でもトップアマの飛距離と実力を維持し、競技を転載している方です。

# 買った理由、これから買う理由

る(ただし一定の場合抱え置き期間の延長がありうる)と書いてあるから、最悪でも預金保証があるから、裁判官にはする会員さんや弁護士の見解です。しかし驚いたことに、憲法に保証された裁判官の報酬(憲法79条と80条は明文で裁判官の報酬について「在任中これを減額すること

できない」と規定してしま

ボートの取り合いをおおっているようにしか見えないのです。その足元で憲法の明文に反して彼らの最も基本的権利である給与が減額されるといって、なんと皮肉な状況になってきました。

それよりあなたがゴルフ会

員権を買ったのは、ゴルフを

楽しむこと、そして会員権を

「在任中これを減額すること」はできない」と規定してしま

て、すべからず最高裁で減額を換付し始めました。またメカパブルの預金ですら一行動たり1000万円しか保証されなくなろうとしている時代です。完成して皆がプレーしているゴルフ場の預託金の抱え置き期間の延長(預託金のカットや放棄ではありません)くらい認めただ方が、健全な法務に合致すると思いません。か。私からみると、早い者勝ちの預託金の返還をせよと認める裁判官は、難破船の救命

的ではありませんね。ただこの点もよく分からないのです。ハゲタカ外資が今、日本中のゴルフ場を安く買いあさっています。彼らはファンドです。明らかに投機目的です。ですから必ず賃値よりかなり上昇するとの予測があるはず。ということは、やはり会員権の相場的にも将来値上りがあり得ると読まれる方もいておかしくはありません。それでも投機は投機、損切りは損切り、それはあきらめてください。

いなど突則的なものです。他方預託金制ゴルフ場の増加はゴルフの大衆化一般化に奇異したことも事実ではあります。その預託金制がほころび、全面的な見直しは時期が来た。現在、日本のゴルフ界そのものを大きく良い方向に変えるチャンスなのかもしれません。早い者勝ちの返還請求はもうたくさんです。ゴルフ会員の多くは、お礼を言われびびくりしました。もうどりの方は、私よりひと回り上の70歳ですが、今でもトップアマの飛距離と実力を維持し、競技を転載している方です。

このような出会いが多くあることがゴルフをやると、続けること、そして会員権を買うことなどではないでしょうか。日本全国、破たんゴルフ場のオンパレードです。ウミを出しきって再生する過程で友達の手を借りることも、ゴルフ会員権の効用ではないでしょうか。やはり「たかがゴルフ、されどゴルフ」という言葉は味わいがあります。

ちと同じく経済的にはうまみは全くありませんでした。でも考えようによってはお金以上のものを得たこともありま。例えば破産したゴルフ場で再建に参加できたので、いっぺんに2000人の友達ができました。

「在任中これを減額すること」はできない」と規定してしま

て、すべからず最高裁で減額を換付し始めました。またメカパブルの預金ですら一行動たり1000万円しか保証されなくなろうとしている時代です。完成して皆がプレーしているゴルフ場の預託金の抱え置き期間の延長(預託金のカットや放棄ではありません)くらい認めただ方が、健全な法務に合致すると思いません。か。私からみると、早い者勝ちの預託金の返還をせよと認める裁判官は、難破船の救命

的ではありませんね。ただこの点もよく分からないのです。ハゲタカ外資が今、日本中のゴルフ場を安く買いあさっています。彼らはファンドです。明らかに投機目的です。ですから必ず賃値よりかなり上昇するとの予測があるはず。ということは、やはり会員権の相場的にも将来値上りがあり得ると読まれる方もいておかしくはありません。それでも投機は投機、損切りは損切り、それはあきらめてください。

いなど突則的なものです。他方預託金制ゴルフ場の増加はゴルフの大衆化一般化に奇異したことも事実ではあります。その預託金制がほころび、全面的な見直しは時期が来た。現在、日本のゴルフ界そのものを大きく良い方向に変えるチャンスなのかもしれません。早い者勝ちの返還請求はもうたくさんです。ゴルフ会員の多くは、お礼を言われびびくりしました。もうどりの方は、私よりひと回り上の70歳ですが、今でもトップアマの飛距離と実力を維持し、競技を転載している方です。

このような出会いが多くあることがゴルフをやると、続けること、そして会員権を買うことなどではないでしょうか。日本全国、破たんゴルフ場のオンパレードです。ウミを出しきって再生する過程で友達の手を借りることも、ゴルフ会員権の効用ではないでしょうか。やはり「たかがゴルフ、されどゴルフ」という言葉は味わいがあります。

ちと同じく経済的にはうまみは全くありませんでした。でも考えようによってはお金以上のものを得たこともありま。例えば破産したゴルフ場で再建に参加できたので、いっぺんに2000人の友達ができました。

(おわり)